

ハートスタート HS 1+ 機器説明

※ AED 使用時の注意点

- 汗や水で身体が濡れている ⇒ タオルなどで拭き取ってからパッドを貼る
- 胸毛が濃い ⇒ 体毛を除去してからパッドを貼る
- パッドを貼る位置に湿布薬等が貼られている ⇒ はがしてからパッドを貼る
- ペースメーカーなどの機器が埋め込まれている ⇒ 埋め込み位置から 8 cm 離れたところに貼る
- ネックレスなどがある ⇒ 胸部周辺の金属類を取り除いてからショックを実行する

① 本体のレバーを引く

⇒自動的に電源ON & 音声ガイダンス開始



電源がONの状態
で長押しすると電源OFF



点滅：使用可能
消灯：使用不可

② パッドを患者の胸に貼る

⇒解析ランプが自動で点滅
電気ショックが必要なかの解析が開始



「i」インフォメーション
ボタンを押すと心臓蘇生の
のガイダンスが流れます。

③ショックボタンを押すよう指示が出たら
体から離れてオレンジ色のボタンを押す
⇒電気ショックが実行されます

AED使用した心肺蘇生法 (CPR)

※不安な方は119番通報時に通信指令員から胸骨圧迫の要領を確認できます。

1) 反応の確認をする

肩を軽く叩きながら「わかりますか？」などと徐々に大きな声で2～3回呼びかけます。

※事前に周囲の安全を確認しましょう



2) 大声で協力を求める

「誰か来てください！」
「人が倒れています！」

「あなたは119番通報してください。」
「あなたはAEDを持って来てください。」



3) 呼吸の確認をする

胸または腹部が上下に動いているかを10秒以内で確認します。

※胸・腹部が動かず口
や鼻だけが動いている状態
(死後期呼吸)は「呼吸なし」と判断します。



4) 胸骨圧迫 (および人工呼吸) を繰り返す

圧迫の速さ 1分間に
100回～120回

圧迫の深さ
5cm～6cm

呼吸吹き込みの長さ
1秒

30回 + 2回



※感染防止用具などがなく不安な方は呼吸吹き込みは不要です。